

報道機関各位

上伊那農業委員会協議会

令和3年度農業功績者・農業功績者感謝状贈呈者・農業名人認定者について

上伊那農業委員会協議会の令和3年度農業功績者・農業功績者感謝状贈呈者・農業名人認定者が決まりました。町内の表彰者・認定者は以下のとおりです。

農業功績者 代田 三男（しろた みつお）さん（木下）

- ・耕作者がいなくなった農地を引き受け、町内農地の集約・集積に大きく貢献。最近では冬期間の雇用安定や有機農業にも取り組む。

農業功績者感謝状贈呈者 柴 恒年（しば つねとし）さん（八乙女）

- ・箕輪町農業委員長、上伊那農業委員会協議会副会長、上伊那農業委員会協議会監事を歴任。

農業名人認定者 唐澤 成好（からさわ しげよし）さん（大出）

- ・野菜づくり名人として認定。苗は全て自分で種からおこし、ハウスを活用した春一番レタスを出荷するなど、工夫を重ねた栽培を行う。

※農業功績者表彰の受賞等伝達式を2月17日に予定していましたが、まん延防止等重点措置期間中のため延期とします。

添付資料 有 無

農業委員会事務局
(課長) 高橋 英人 (担当) 唐澤 智大
電話 : 0265-79-3170 (直通)
FAX : 0265-79-0230
E-mail : nougyou@town.minowa.lg.jp



じゃらんnet

「全国のおすすめ紅葉スポットランキング2021」でもみじ湖が2年連続全国1位に選ばれました！！

箕輪町子育て少子化対策
キャッチコピー

みんなで育てる みのわっ子
～パパになるなら箕輪町
ママになるのも箕輪町～

農業功績者、農業功績者感謝状贈呈者、農業名人認定者

1 農業功績者表彰

農業に従事し、農業政策に係る顕著な功績、新技術の開発普及、研究発明考案、農業環境の改善等について、特に優れた功績のあった個人又は団体を表彰します。

農業功績者（上伊那で1団体+5人）

市町村名	個人・団体名	功 績 の 概 要
箕輪町	しろた 代田 みつお 三男	<p>セイコーエプソン株式会社に勤務する傍ら、定年後の生活を見据え、57歳から兼業で農業を始めた。</p> <p>退職後には、59歳で電気工事監理事務所を開設し、農業とともに取り組んできた。</p> <p>近隣農地の耕作依頼に応える形で、町内外の耕作者がいなくなった農地（主に田んぼ）を一手に引き受けるようになり、3年前には電気工事監理事務所を閉じて専業農家となった。</p> <p>当初は3haの農地からのスタートであったが、現在は55haの農地を耕作しており、これは町内農地の8%にあたる。</p> <p>目標の耕作引き受け面積は60haで、令和4年度には達成する見込みである。</p> <p>耕作地は町内全域に及び、耕作しにくい農地も引き受けている。</p> <p>このうち95%以上が借地であるが、これは「利益がある限りは還元したい」との思いからで、土地所有者へ地代を支払いながら耕作を行っている。</p> <p>また、常時雇用3人のうち2人は外国人であり、アルバイトも含めて積極的に若者を雇用している。</p> <p>冬期間にも、干し柿づくり、木の選定、ペレット状堆肥づくりなどの作業を行い、雇用者の年間雇用と収入安定を図っている。</p> <p>減反政策への対策として米の輸出も始め、最近では有機農業にも積極的に取り組み、化学肥料の削減を目指すとともに、もみ殻・小ぬか・鶏ふんを使ったペレット状堆肥の商品化にも取り組んでいる。</p> <p>地域の農業の集約・集積へ貢献は大きく、また、今後は地域全体のバランスを考えながら、更なる農地の集積化を目指すなど、地域から大いに期待されている農業者である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町認定農業者 ・平成27年から町農業委員を2期6年務める

2 農業功績者感謝状贈呈

農業委員会活動に協力し、著しい功績があった者に、感謝状を贈呈します。

農業功績者感謝状贈呈者 (上伊那で1人)

市町村名	氏名	功績の概要
箕輪町	しば 柴 つねとし 恒年	箕輪町農業委員会会長 ・在任期間 (平成 27 年 4 月～令和 3 年 3 月) 上伊那農業委員会協議会副会長 ・在任期間 (平成 27 年 4 月～平成 30 年 7 月) 上伊那農業委員会協議会監事 ・在任期間 (平成 30 年 7 月～令和 2 年 7 月) 上伊那農業委員会協議会副会長 ・在任期間 (令和 2 年 7 月～令和 3 年 3 月)

3 農業名人認定証授与

農業・農村の振興対策として、村づくり・地域づくり・人づくりの重要性が広く認識されるなかで、地域の農村文化や歴史等に誇りを持ち、そこに伝わる知恵や技術を伝承していくことが重要です。

このため、上伊那在住で農業関係等について腕自慢の方、あるいは後世に残したい技術等の伝達者を「農業名人」に認定し、その技術等を長く継承するとともに新たなライフスタイルを創造してまいります。

農業名人認定者 (上伊那で2人)

市町村名	氏名	名人の名称
箕輪町	からさわ 唐澤 しげよし 成好	野菜づくり

令和3年度認定

農業名人

野菜づくり名人

からさわ しげよし
唐澤 成好

昭和15年生まれ 箕輪町在住

～苗はすべて自分で種からおこす～

東京で牛乳販売店の経営をしていたが、兄が亡くなったことをきっかけに実家へ戻る。実家は酪農をしていたが、自分には酪農経営は難しいと考え、畜舎等を他人に譲って建設会社に20年間勤務した。

所有する農地が多かったことから、定年後には専業農家となり、現在に至る。

農業技術や農業経営は、雑誌やインターネットで勉強したり、他の農家のやり方を参考にするなどして身に付けたという。

野菜づくりは、ブロッコリー、カリフラワー、白菜、スイートコーンなど多品種にわたる。苗はすべて自分で種からおこし、ハウスを活用した春一番レタスを出荷するなど、栽培には工夫を重ねている。

最近では、箕輪町ふるさと納税の返礼品として自慢のスイートコーンが選ばれ、その品質の高さは好評を博した。

このような高品質な野菜づくりは、まさに、これまでの研究や経験の積み重ねにより得られた知見・技術を総動員した成果である。

また、出荷先をなるべく直売所に集中させ高い利益率を確保するとともに、廃棄量の減少を実現することで、持続可能な農業経営を実現している。

町農業委員を平成12年から1期3年務める。

